

村岡到編

『歴史の教訓と社会主義

——ソ連邦崩壊二〇年シンポジウムから』

ロゴス刊行 予価：3000円 5月刊行予定

第Ⅰ部 ソ連邦圏の崩壊

ソ連はどのように解体／崩壊したか 塩川伸明（東京大学教授）

ロシア企業の体制転換—二〇年の道程 加藤志津子（明治大学教授）

ソ連の裁判制度はどうなっていたのか 西川伸一（明治大学教授）

中欧の体制転換の特徴 社会学的分析 石川晃弘（中央大学名誉教授）

ソ連崩壊を西欧はどう受け止めたか 羽場久美子（青山学院大学教授）

ソ連、ユーゴの崩壊めぐる討論から 佐藤和之（教育労働者）

第Ⅱ部 社会主義像の探究

社会主義の歴史と残された可能性 森岡真史（立命館大学教授）

社会主義の政治体制と清廉な官僚制 村岡 到（『プランB』編集長）

ベーシックインカム構想と社会主義 伊藤 誠（東京大学名誉教授）

中流市民層と社会の変革 瀬戸岡紘（駒澤大学教授）

大地への高次復帰—高度自然社会へ 藤岡 惇（立命館大学教授）

投稿主：村岡到